

幕張の「海・風・空」を感じ まちとつながる エンターテインメントスタジアム の実現へ



再整備の考え方

◆現スタジアムの現状と課題

- 平成2年竣工の市民球場、平成4年からマリーンズの本拠地
- 多くの市民やファンから愛され、大切な歴史・文化
- 年間200万人以上が来訪、幕張新都心のにぎわい創出の原動力
- 35年が経過し、老朽化への対応、機能面の更新が喫緊の課題

再整備の考え方

◆幕張新都心の現状と課題

- 「職・住・学・遊」の複合機能を備えた街として発展
- 令和5年に幕張豊砂駅が設置（幕張新都心で2つ目の駅）
- 回遊性の向上、公共空間の有効活用、アフターコンベンションの充実、
スポーツ観戦・体験の機会の拡充などが課題

再整備の考え方

◆今後の方向性

- 「幕張メッセ駐車場」に、楽しさ・喜び・驚きなどの感情を沸き立たせるアクティビティやコンテンツを体感できる「屋外型スタジアム」を再構築して、新都心の魅力を向上
- 周辺の大規模商業施設や豊砂公園、幕張メッセとの相乗効果を生み出す
- 幕張海浜公園内の各施設などと連携することで、“スポーツ・文化”をテーマにまちをつなぎ、回遊性・滞在快適性を向上

■ 幕張メッセ駐車場に新設する理由



- 十分な敷地面積（約11ha）
 - 幕張豊砂駅から約500m程度
 - 周辺施設との連携
- ↓
- 新たなスタジアムを中心に多くの交流を生み、幕張新都心の活力を最大限に引き出す
 - 代替駐車場の確保について関係機関と協議

■ 屋外型スタジアムとする理由

● 地域資源の活用・現スタジアムの歴史の継承

- ・海が近く、潮風が心地よい、青空が広がる立地
- ・これまでの35年間で多くの人々に刻まれた五感の記憶を継承

● スタジアム経営の観点（コストメリット、投資回収の可能性）

- ・全国で開催されている音楽イベントの99%は、3万席未満の会場規模

● イベント等での機能分担

- ・幕張メッセやアルティーリ千葉新アリーナ(検討中)との棲み分け
- ・幕張新都心全体で多様なイベントを誘致（集客）



屋外型スタジアムを選択

目指すべき新たなスタジアムの姿

まちとシームレスにつながる**エンターテインメントスタジアム**

幕張新都心の
新たなシンボル

まちの社交場

「日常」と「非日常」
の同居

チャレンジな
取組みの拠点

地域防災・脱炭素社会
への貢献

導入を想定する機能

- 「ベース機能」と「拡張機能」の導入により、365日楽しめるスタジアムの実現を目指す



ベース機能：市民利用が可能な公共施設（野球場・イベント機能、防災機能など）

拡張機能：民間投資による施設（商業・エンタメ機能、滞在機能など）

※写真は例示であり、参考イメージです。

導入を想定する機能

- 周辺の商業施設・豊砂公園との連携による利便性向上や、歩車分離による回遊性向上のため、2 階レベルの周遊デッキの接続を目指す

参考イメージ(エディオンピースウイング広島)



千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ ベース機能

※写真は例示であり、参考イメージです。

野球場・イベント機能

- 収容人数は、3.3万人を想定（現スタジアムから 1 割程度拡張）
- 快適性の向上のため、観客席上部への屋根やミストシャワーの設置などを検討

参考イメージ(国立競技場)



参考イメージ(マツダスタジアム)



千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ ベース機能

※写真は例示であり、参考イメージです。

野球場・イベント機能

- 安全確保に加えて、スタジアム内の様々な場所からも観戦可能とするため、屋外の周遊デッキとつながった360度回遊できるオープンコンコースの設置を検討

参考イメージ(エディオンピースウイング広島)



参考イメージ(マツダスタジアム)



千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

※写真は例示であり、参考イメージです。

■ ベース機能

野球場・イベント機能

- ライブやフェスなど多様な利用用途のため、人工芝の設置を検討
- 興行演出やリアルタイムでの情報提供のため、大型映像設備などの設置を検討

参考イメージ(現スタジアム:SUMMER SONIC)



参考イメージ(エディオンピースウイング広島)



千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ ベース機能

※写真は例示であり、参考イメージです。

野球場・イベント機能

- おもてなし、商談などのビジネスシーンをはじめ、親睦会、サークルの飲み会など様々な用途で利用可能な空間の設置を検討

参考イメージ(エスコンフィールドHOKKAIDO)



参考イメージ(エディオンピースウイング広島)



千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ ベース機能

※写真は例示であり、参考イメージです。

野球場・イベント機能

● マリーンズの屋内練習場

参考イメージ(現マリーンズ屋内練習場)



(千葉ロッテマリーンズ公式ホームページより引用)

参考イメージ(現マリーンズ屋内練習場)



© C.L.M.

千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

※写真は例示であり、参考イメージです。

■ ベース機能

野球場・イベント機能

- 災害時のための物資の倉庫や、マンホールトイレなどの設置を検討

参考イメージ(エディオンピースウイング広島)



(広島市提供)

参考イメージ(ひろしまスタジアムパーク)



(広島市ホームページより引用)

千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ 拡張機能（民間提案）

※写真は例示であり、参考イメージです。

商業・エンタメ機能

- 楽しさ・喜び・感動・驚きなどの感情を提供するアクティビティやコンテンツの導入

参考イメージ(BOSS E・ZO FUKUOKA)



参考イメージ(マツダスタジアム)



千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ 拡張機能（民間提案）

※写真は例示であり、参考イメージです。

滞在機能

- ホテル、サウナなど、特別感・非日常感を味わうことのできる空間

参考イメージ(エスコンフィールドHOKKAIDO)



© H.N.F.

参考イメージ(長崎スタジアムシティ)



(提供：長崎スタジアムシティ)

千葉マリスタジアム再整備基本構想案（骨子）

■ 拡張機能（民間提案）

※写真は例示であり、参考イメージです。

広場機能

● だれもが気軽に立ち寄れる空間

参考イメージ(都立明治公園)



(東京建物株式会社提供)

参考イメージ(ひろしまスタジアムパーク)



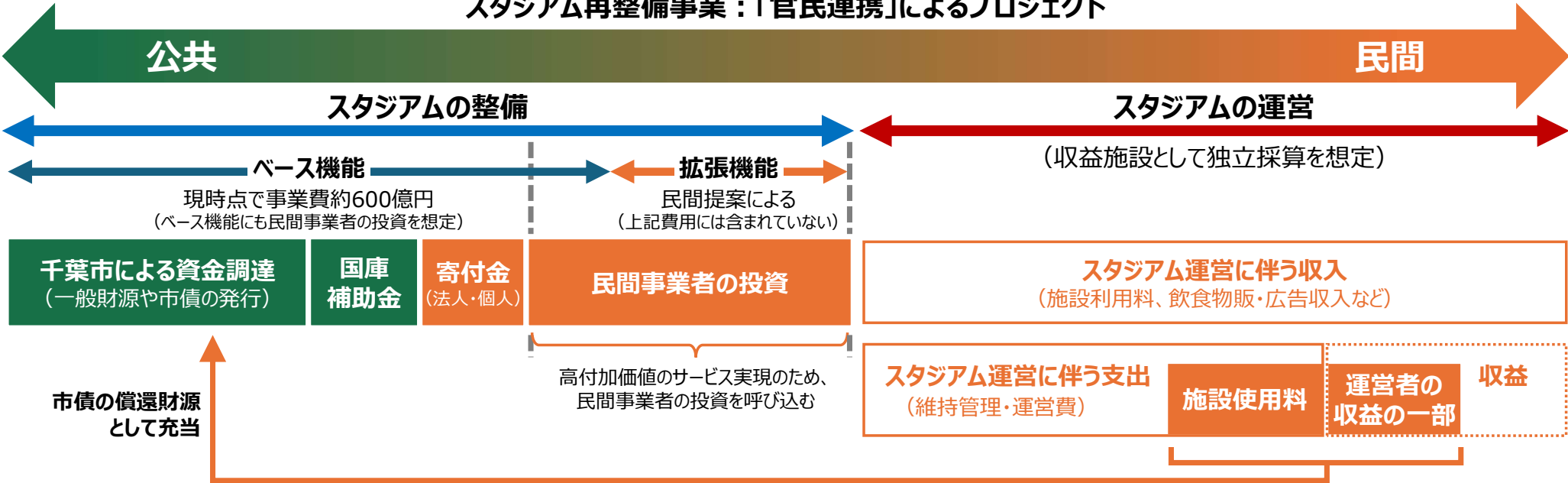
(広島市提供)

概算事業費・事業スキームの考え方

- 公的資金 + 民間資金
- 官民連携による事業化

項目	概算事業費（税込）
スタジアム整備費 （ベース機能のみ）	約 600 億円
周辺インフラ整備費等	約 50 億円
合計	約 650 億円

スタジアム再整備事業：「官民連携」によるプロジェクト



今後の進め方

令和7年6月頃	サウンディング型市場調査の実施
7月頃	基本構想案のパブリックコメント
8月頃	基本構想の策定
令和7～8年頃	事業協力者の募集・決定 基本計画の検討 事業実施の判断
令和9～15年頃	事業者選定、基本設計、実施設計、建設工事
令和16年頃	開業